



鳥取版異次元の少子化対策について

Q
玉木ゆういち



人口減少問題に対する危機感とともに、鳥取県が全国に先駆けて取り組む姿勢を評価。特に11月に開催された人口戦略フォーラムを例に挙げ、「産官学金労言」が一体となった社会改革と、若者・女性の声に寄り添った政策展開の必要性を訴えた。人口減少の実態を県内外のデータで示し、鳥取県の「消滅可能性自治体」の現状にも言及。知事に対しては、財源のめり張りをつけてインパクトのある政策を打ち出すべきと主張した。

A
答弁【知事】

鳥取から日本を変えよとの覚悟を持ち、政策の再構築と財源の重点配分を進めると答弁。異次元の対策として、女性活躍の推進や子育て環境の整備に重点を置くと述べた。



女性活躍政策の強化について

Q
玉木ゆういち



特に「女性応援課」「産業人材課」「子育て王国課」の3部署について、実績と課題を具体的に示しながら、人員・予算の抜本的強化を要望。若者・女性の当事者を政策立案に巻き込む体制強化の必要性を訴えた。

A
答弁【知事】

いずれの部署も県の未来に直結する重要部門と位置付け、前向きに人員体制や事業拡充を検討する意向を表明。



地域の声を反映した横断歩道・信号機の設置について

Q
玉木ゆういち

信号機・横断歩道の新設要望が増加しているにも関わらず、整備が進んでいない現状を指摘。特に城北公民館前の国道53号における具体的事例を紹介し、2,500名超の署名がある要望について警察本部長に見解を求めた。



A
答弁【警察本部長】

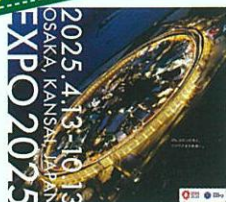
物理的・基準上の制約を認めつつも、地域の声に真摯に向き合い今後も検討を継続すると答弁。玉木議員は、地域の安全のため、より柔軟な対応を求めた。

総括

11定例会では、玉木議員から現場の声とデータに基づいた具体的かつ実効性ある提言がなされ、知事および執行部もそれに前向きに応じる姿勢を示した。特に、人口減少対策、女性・若者支援、教育環境の充実など多岐にわたる課題に一貫して取り組む決意が示された意義深い質疑となった。

消滅の可能性がある鳥取県内の自治体、岩美、若桜、智頭、八頭、大山、日南、日野、江府の8町が該当したことをうけ危機感を示す玉木議員

会派要望



①給食費補助（物価高騰による質低下防止）

物価高騰による給食の質の低下を懸念し、市町村の財政では賅いきれない部分に対する県の補助を要望。

【県の回答】県は、全国一律の仕組みづくりを国に要望しており、引き続き国に働きかけていく方針。

②出会い・結婚支援事業

職員体制の強化による出会い・結婚支援の推進を要望。

【県の回答】タスクフォース等の提案を踏まえた事業の強化と、組織体制の検討を進める意向。

③大阪・関西万博と観光誘客

万博による観光促進の好機として、観光客への情報発信や支援体制の強化を要望。

【県の回答】特設サイトやSNSを活用した広報活動やキャンペーンを展開中。補正予算に関連事業を計上。

④横断歩道の新設

【県の回答】県警はバリアフリー対応施設の整備を進めており、交通規制基準に基づく対応を継続予定。

⑤前立腺がん検診の対策型検診への組入れ

前立腺がんの罹患率が高いため、対策型検診への昇格を国に要望することを提案。

【県の対応】科学的根拠が示された段階で国への要望を検討すると回答。

